



SII

学校だより

小豆沢学びのエリア《志村二小・志村四小・志村二中》



校訓：まじめ

令和7年9月29日

校長 山口 敦

No. 8

「判断基準」

校長 山口 敦

今月の初め、金髪で赤い服を着た芸人が司会を務めるテレビ番組を見ていたら、その番組が最終回でした。学説を各界の専門家から学ぶ新スタイルの教養番組でした。番組の最後では、「学びとは何か」という質問に、何名かの大学教授が答えていました。「私にとって学ぶとは、やはり目の前にいる人たちを幸せにしていく手立て。」また、「私にとって学ぶとは、知識を学ぶ、技術を学ぶ、それを人や社会に役立てること。これがとても重要だと考えています。」という答えが大変印象的でした。

話は変わりますが、「情けは人のためならず」ということわざがあります。このことわざの意味は次のうちどちらでしょうか。

A：人に情けを掛けて助けてやることは、結局はその人のためにならない。

B：人に情けを掛けておくと、巡り巡って結局は自分のためになる。

令和4年度の文化庁による「国語に関する世論調査」では、Aを選んだ人が47.7%、Bを選んだ人が46.2%でした。これは「情けは人のためではなく、いずれは巡って自分に返ってくるのであるから、誰にでも親切にした方が良い」という教えです。（正解はBです。）

このことを科学的に実証したと大阪大学が研究成果を発表しています。それによると、「幼児が第三者間のやり取りを観察して他者の親切さを評価していること、親切を行う幼児は後にまわりの幼児から親切にしてもらいやすく、自分が親切にした分をまわりの児から返してもらっていることが明らかになった。」としています。人の利他性は動物界の中でも大変特異的で、大きな謎とされてきたそうですが、それを幼児の日常生活の行動からデータを集め実証したというのです。

実際に人に親切にすると、人から親切を受けやすいという事実が、5・6歳児の行動観察で明らかとなったということです。

私の経験からも、これまで自分の行動が回り回って自分に返ってくることが多いと感じます。よいことをすれば、最終的にそれが自分に返ってくるし、自分中心の行動をすれば、自分に不利益なこととして返ってることが多かったと思います。

利他といえば、2年前年に亡くなられた、京セラ・KDDIの創業者の稲盛和夫さんは『利他の心』について、稲盛和夫オフィシャルサイトで次のように述べています。

『正しい判断をするためには、利他の心を判断基準にする』。私たちの心には、自分だけが良ければいいと考える“利己”の心と、自分を犠牲にして他の人を助けようとする“利他”の心があります。利己の心で判断すると、自分のことしか考えていないので、誰の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいます。

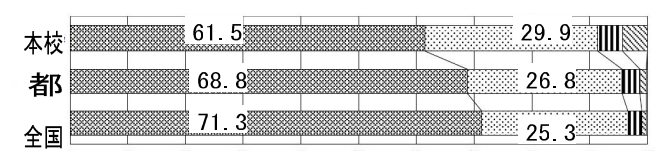
一方、利他の心で判断すると人によかれという心ですから、まわりの人みんなが協力してくれます。また、視野も広がるので、正しい判断ができるのです。より良い仕事をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、まわりの人のことを考え、思いやりにみちた『利他の心』に立って判断すべきです。」

「利他」という言葉はあまり聞きなれない言葉ですが、「利他」と反対の意味を表す、「利己主義」という言葉は聞いたことがあると思います。自己中心的な考えが「利己主義」ですが、「利他」とは、自分の利益だけではなく、他者のために役立ちたいという「人のために貢献する」という意味があります。人によかれと考えて行動することは実はとても難しいことです。

「利己」も「利他」も自分の心の中にある。だからこそ、「自分よりも他者を」と考え行動することは難しいことでしょう。しかし、相手を思いやる気持ちをかけて行動したことが他者の喜びにつながり、巡り巡って自分にも善い結果となって返ってくるのです。一人一人が個性を発揮しつつ『利他の心』を発揮できる、そんな子どもたちを、育てていければと思います。

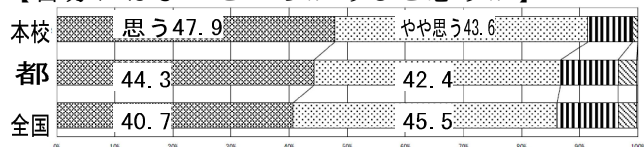
学校生活においても社会生活においても、より良い取組をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、周囲の人のことを考え、思いやりに満ちた「利他の心」に立って判断ができるようになることが大切です。助けが必要な人にさっと手を差し伸べることが自然とできるような人になってほしいと思います。

【人の役に立つ人になりたいか】

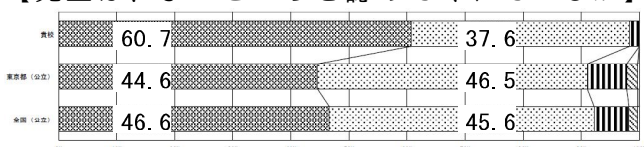


9学年全国学力・学習状況調査結果概要

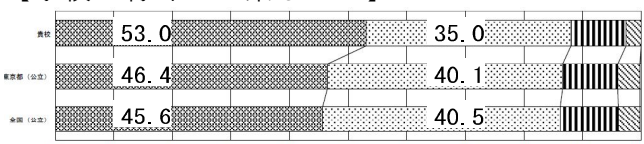
【自分にはよいところがあると思うか】



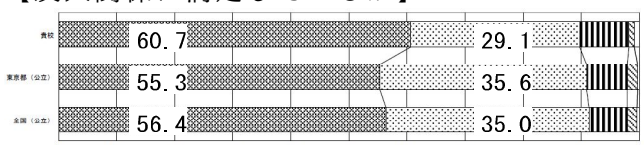
【先生は、よいところを認めてくれているか】



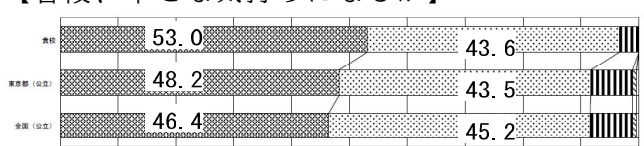
【学校に行くのは楽しいか】



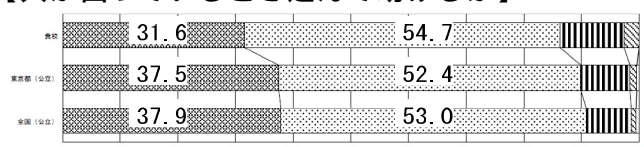
【友人関係に満足しているか】



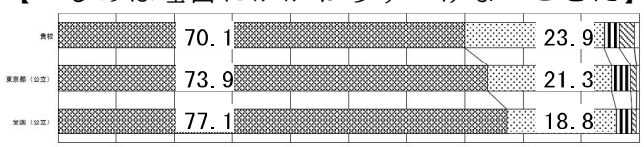
【普段、幸せな気持ちになるか】



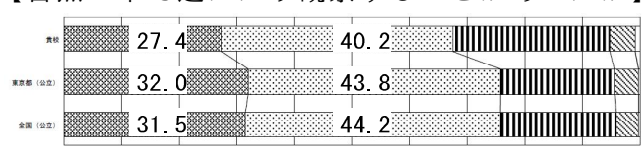
【人が困っているとき進んで助けるか】



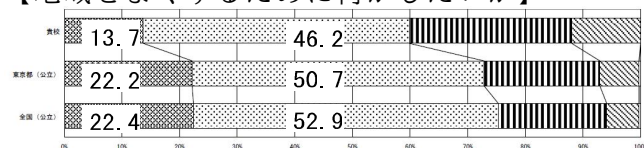
【いじめは理由にかかわらずいけないことだ】



【自然の中で遊んだり観察することがあったか】



【地域をよくするために何かしたいか】



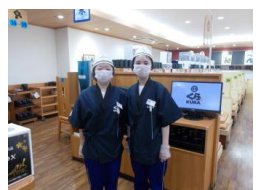
9年修学旅行

9月10日(水)から12日(金)の3日間で奈良・京都



へ修学旅行に行ってきました。雨の予報が出ていましたが、傘をささずに見学することができました。これまでそれぞれのテーマに沿って事前に調べ学習を行い、現地では実物に目を向け、目で見て、肌で感じたことを記録するなど、意欲的な学びの姿勢が見られました。修学旅行という体験の学びが、9年生の心に確かな感動を刻んだことと思います。笑顔で3日間を過ごし、クラスの絆をより深め、楽しい思い出になりました。

8年職場体験



修学旅行と同日程で8年生は職場体験学習を行いました。地域にある37の事業所の皆様にご協力いただきました。日常とは違う多くの経験を通し新たな発見や働く人の様々な気遣いなど、労働の大変さや人の優しさに触れることができました。この体験を通し、様々な場所で、多くの人と関わり、家族に支えられていたことに気づいたことでしょう。将来を見据えて、しっかり進路を考えていくきっかけになることを期待しています。

生徒会役員選挙

9月18日(木)に、生徒会役員選挙立会演説会及び投票が行われ、7名定員のところ12名の立候補がありました。事前に南門での挨拶や録画による演説、そして当日には応援演説も行われ、どの候補者もどのような学校にしていきたいか、どのような活動をしていきたいかを熱心に訴えていました。これからも、学校生活向上のために互いに協力し合う姿勢をもち続けてほしいと願っています。

新生徒会 会長 8-1 Aくん
役員 8-3 Kさん・7-2 Mさん
8-3 Tさん・7-3 Hくん
8- 3Mくん・7-4 Sくん

活躍する志二中生！

男子ソフトテニス部

板橋区中学校ソフトテニス新人大会
男子団体 第3位(都大会出場権獲得)



【10月の主な予定】

10月	2	木	笑顔と学びのプロジェクト
	3	金	英検
	6	月	生徒朝礼／委員会任命式
	9	木	学校公開／小6授業体験／iCS
	10	金	JOCオリンピック教室(8)
	13	月	スポーツの日
	15	水	進路説明会
	16	木	避難訓練
	22	水	学びのエリア研修会
	25	土	文化発表会(弁当持参)
10月	27	月	振替休業日
	30	木	三者面談／地域面談(始)(9)

